

第 130 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 23 年 4 月 22 日 (金) 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 田辺 (電中研)

委員 岩佐 (産総研)、黒川 (産総研)、作田 (日本大)、佐山 (防衛大)、
竹内 (横河電機)

幹事 作本 (日電検)、大谷 (アンリツ)

幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

資 料

130-1-1 基礎・材料共通部門研究調査運営委員会議事要旨

130-1-2 第 87 回平成 22 年度 (第 3 回) 基礎・材料共通部門役員会議事

130-1-3 研究会別 発表論文数・資料予約者総数比較

130-2 平成 23 年度 計測技術委員会活動計画

130-3 平成 23 年度 計測研究会開催予定

130-4 平成 22 年度 計測技術委員会活動状況

130-5 平成 22 年度 計測研究会開催状況

130-6 電気学会 研究会企画連絡シート

130-7 電気学会 A 部門誌 記事提案用紙

130-8 平成 22 年度研究会活動補助金 会計報告

議 事

1. 議事録の確認

異議なく承認された。

- ・ 5 月及び 6 月の計測研究会は地震の影響により中止となった (Web ページにも掲載)。また、3 月に行われる予定であった全国大会も中止になった。
- ・ 小野委員の退任にともない、新しく委員となる作田氏より挨拶があった。

2. IEEE Chapter Meeting 報告

大谷幹事より学生研究発表会がアワード登録されたとの報告があった。平成 23 年度は佐賀大学で開催する。

- ・ 賞金は 30,000 円/人なので 3 名で 90,000 円となり、受賞者は IEEE 会員となる。
- ・ 内規は大谷幹事が作成し、後ほどメールで回す。
- ・ 賞状は IEEE の様式で、委員長名で出す。
- ・ 学生研究発表会の準備や当日の受付等は計測技術委員会の委員が行うが、開催地の大学関係者にもお願いしたい。
- ・ 募集方法は研究会と同様とする。

3. 運営委員会報告

田辺委員長より資料 130-1-1、資料 130-1-2 及び資料 130-1-3 に基づき、運営委員会の報告があった。

- ・ A 部門の研究会資料の購入者の減少にともない収入が減っている。各技術委員会で対策を検討してほしい。
- ・ 収入も大事であるが、そもそも何のために研究会をやっているかという議論も必要。
- ・ 特別講演の資料について、研究会の資料に入れることができる。

- ・研究会を共催した場合の A 賞及び部門賞の母数について、A 部門としては基本的には共催の数で割る方向とする。

4. 平成 23 年度計測技術委員会活動計画並びに計測研究会開催予定

作本幹事より資料 130-2 及び資料 130-3 に基づき、平成 23 年度活動計画並びに計測研究会開催予定について説明があった。

- ・技術委員会は 4 回、見学会は 2 回を予定している。
- ・研究会は 9 回を予定しているが、2 件は中止が決定している。
- ・7 月開催を予定していた「電磁波計測及び一般」については、1 月に開催する方向で計画し直す。
- ・調査専門委員会の新設について、現時点では未定。

5. 平成 22 年度活動状況

作本幹事より資料 130-4 および資料 130-5 に基づき、平成 22 年度活動状況について報告があった。

- ・委員会等の活動状況は資料 130-4 のとおりである。
- ・見学会は 10 月に、産総研のオープンラボに合わせて行った。
- ・研究会の開催状況は資料 130-5 のとおりである。

6. 鹿児島での研究会

大谷幹事より、2 月に開催された鹿児島（指宿）での研究会について報告があった。

- ・延べ参加者数は 28 名、懇親会の参加者は 20 名であった。
- ・懇親会において、技術的な議論の場を設けたが、良い試みであったと思われる。
- ・基調講演について、1~2 名の一般参加者があった。
- ・発表内容については、非常に幅広かった。

7. 7 月に開催予定の計測研究会

作本幹事および佐山委員より資料 130-6 に基づき、7 月に開催予定の計測研究会について報告があった。

8. 電気学会 A 部門誌特集号の記事提案

作本幹事より資料 130-7 に基づき、A 部門誌の記事提案について報告があった。

- ・原稿締切は掲載の 9 か月前で、平成 24 年 1 月頃となる。
- ・編修委員会の承認が得られれば、2 月の研究会参加者にもう一度案内を出す。

9. 平成 22 年度研究会活動補助金

作本幹事より資料 130-8 に基づき、平成 22 年度研究会活動補助金の会計報告があった。

- ・補助金は前年度の売り上げの 3 %で、使途は懇親会の補助である。

10. その他

岩佐委員よりスマートメータに関する話題提供があった。

次回予定

日 時 平成 23 年 7 月 22 日（金）

場 所 未定